

地 2 日 発
域 0 本 掘
展 0 列 され
7 島 た

水都 大阪の国際交流史

発掘された大阪2007

平成20年

1月19日 土



3月2日 日

主催：大阪府立弥生文化博物館・文化庁
共催：全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会
全国埋蔵文化財法人連絡協議会
事務局：(財)茨城県教育財団
特別協力：朝日新聞社
協力：インターネットミュージアム事務局
後援：NHK
協賛：(株)ジャパン通信情報センター
(株)東都文化財保存研究所

Mais o menos

Como vai?



地2日 発掘された
域0本 列島
展7 展

発掘された大阪 2007

水都大阪の国際交流史



唐三彩
(平城京跡)

全国展：大阪府立近つ飛鳥博物館にて同時開催
開催期間 1月26日(土)～2月24日(日)



龍の文様が付いた中国産の壺(堺環濠都市遺跡)

大阪の地は古くから海を介して大陸とつながっていました。河川を利用した水上交通も発達し、港も整備されていました。大阪が「水都」と呼ばれる所以でもあります。弥生時代では「貨泉」、古墳時代では渡来人がもたらした多くの文物と船形埴輪などが、交流の一端を垣間見せています。古代では隋や唐、新羅などの外交使節が頻繁に往来する起点のひとつとなり、「難波津」をはじめとする港を窓口として、難波宮を中心とした国際都市大阪の基盤が形づくられました。中近世になると、政治の中枢は大阪を離れますが、大坂城とその城下町、堺環濠都市などは、港湾都市としても発展し、中国・朝鮮半島のみならず、遠くヨーロッパからの文物が持ち込まれるなど、さらなる広がりをみせています。今回の展示では、海・港・交流をテーマに古代から近世にかけて海を越えて大阪にもたらされたモノを中心に展示し、大阪の地が日本の歴史上で果たした役割について考えます。



❖ 特別講演会

第1回 1月27日(日)

「国際関係からみた古代の難波」

直木 孝次郎(大阪市立大学 名誉教授)

第2回 2月16日(土)

「日本文化を刺激した外来文物」

水野 正好(財団法人 大阪府文化財センター 理事長)

場 所：1階ホール

時 間：午後2時～4時

(受付は午後1時30分から、午前11時から整理券配布)

定 員：170名(申込不要 先着順)

海



❖ ワークショップ

日 時：2月3日(日)・2月24日(日)

午後2時～午後3時30分

場 所：地階セミナールーム

定 員：20名

(申込不要 先着順 受付は午後1時30分から)

参加費：無料

❖ 学芸員による展示解説

日 時：期間中の日祝日 午前11時から

場 所：特別展示室

(※音声ガイドもあります(貸出無料))



新羅からもたらされた壺
(野々上遺跡)

交流

西洋人をかたどった水滴
(左：堺環濠都市遺跡・右：大坂城下町跡)

大阪府立弥生文化博物館

開館時間：午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)
休館日：毎週月曜日(ただし2月11日(月・祝)は開館し、翌12日(火)が休館)
入館料：一般600円、65歳以上・高大生400円
中学生以下・障害者手帳を持つ方は無料(20名様以上の団体は2割引)
交 通：JR 阪和線「徳太山」駅下車西へ約600m
南海本線「松ノ浜」駅下車東へ約1,500m
国道26号線「池上町」交差点南西角
駐車場：普通車80台、大型バス7台(いずれも無料)
所在地：〒594-0083 大阪府和泉市池上町4-8-27
TEL.0725-46-2162
<http://www.kanku-city.or.jp/yayoi/>



朝鮮半島産の硯
(堺環濠都市遺跡)